

## ■ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごと、ヘッジ会計の方法別の決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額及び時価並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

[金利関連取引]

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	2017年3月31日				2018年3月31日			
		主なヘッジ対象	契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	主なヘッジ対象	契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	金利スワップ	—	—	—	—	—	—	—	—
	金利先物		—	—	—		—	—	—
	金利オプション		—	—	—		—	—	—
	その他		—	—	—		—	—	—
金利スワップの特例処理	金利スワップ	貸出金	21,673	20,473	(注) 3	貸出金	21,573	17,942	(注) 3
	受取固定・支払変動		—	—			—	—	
	受取変動・支払固定		21,673	20,473			21,573	17,942	
合計		—	—	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 主として「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号 2002年2月13日)に基づき、繰延ヘッジにより処理することとしております。
2. 時価の算定  
取引所取引については、東京金融取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。
3. 金利スワップ特例処理によるものは、ヘッジ対象とされている貸出金と一体として処理されているため、その時価は記載しておりません。

[通貨関連取引]

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	2017年3月31日				2018年3月31日			
		主なヘッジ対象	契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	主なヘッジ対象	契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	通貨スワップ	外貨建のコールローン、貸出金、有価証券、外国為替等	72,923	39,266	△481	外貨建のコールローン、貸出金、有価証券、外国為替等	90,304	42,496	3,537
	為替予約		1,400	—	△40		434	—	△38
	その他		—	—	—		—	—	—
為替予約等の振当処理	通貨スワップ	—	—	—	—	—	—	—	—
	為替予約		—	—	—		—	—	—
合計		—	—	—	△521	—	—	—	3,499

- (注) 1. 主として「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号 2002年7月29日)に基づき、繰延ヘッジによっております。
2. 時価の算定  
割引現在価値等により算定しております。

[株式関連取引、債券関連取引]

2017年3月31日及び2018年3月31日ともに該当事項はありません。

## 経営諸比率

### ■利益率

(単位：%)

	2016年度	2017年度
総資産経常利益率	0.45	0.48
資本経常利益率	6.86	7.53
総資産当期純利益率	0.33	0.33
資本当期純利益率	5.01	5.10

- (注) 1. 総資産経常(当期純)利益率 =  $\frac{\text{経常(当期純)利益}}{\text{総資産(除く支払承諾見返)平均残高}} \times 100$
2. 資本経常(当期純)利益率 =  $\frac{\text{経常(当期純)利益}}{\{(\text{期首純資産(除く新株予約権)}) + (\text{期末純資産(除く新株予約権)})\} \div 2} \times 100$

### ■利鞘等

(単位：%)

	2016年度			2017年度		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
資金運用利回り	1.10	1.77	1.18	1.06	2.18	1.16
資金調達原価	0.83	1.08	0.86	0.79	1.52	0.86
総資金利鞘	0.27	0.69	0.32	0.27	0.66	0.30